



2022年10月17日

各位

上場会社名 常磐興産株式会社  
 代表者 代表取締役社長 西澤 順一  
 コード番号 9675(東証スタンダード)  
 問合せ先 執行役員管理部担当 藁谷 哲也  
 電話番号 0246-43-0569

## 業績予想の修正及び営業外収益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

|                                   | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属<br>する四半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|----------------------|-----------------|
| 前回発表予想(A)                         | 8,940  | 720    | 620    | 520                  | 59円20銭          |
| 今回発表予想(B)                         | 6,930  | 730    | 870    | 720                  | 81円97銭          |
| 増減額(B) - (A)                      | △2,010 | 10     | 250    | 200                  | —               |
| 増減率(%)                            | △22.5  | 1.4    | 40.3   | 38.5                 | —               |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(2022年3月期第2四半期) | 4,288  | △1,235 | △1,173 | △1,337               | △152円30銭        |

### 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

|                         | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想(A)               | 17,000 | 490    | 210    | 120                 | 13円66銭         |
| 今回発表予想(B)               | 13,270 | 460    | 370    | 240                 | 27円32銭         |
| 増減額(B) - (A)            | △3,730 | △30    | 160    | 120                 | —              |
| 増減率(%)                  | △21.9  | △6.1   | 76.2   | 100.0               | —              |
| (ご参考)前期実績<br>(2022年3月期) | 11,081 | △2,339 | △2,312 | △2,711              | △308円72銭       |

### 2. 修正の理由

売上高につきましては、2023年3月期第2四半期累計期間において、主に燃料商事事業の取引の売上の一部について、予定していた本人取引(総額計上)から代理人取引(純額計上)としての取り扱いに変更になったこと、また新型コロナウイルス感染症の影響により、スパリゾートハワイアンズの集客が想定を下回ったこと等から、前回発表いたしました予想数値を下回る見通しとなりました。通期につきましては燃料商事事業の取引については同様の理由により、前回発表の予想値を下回る見通しであります。

営業利益につきましては、燃料商事事業が好調に推移したことにより、第2四半期累計期間にはほぼ計画通りとなるものの、通期では燃料・原材料価格の更なる上昇が見込まれることから、前回予想を下回る見通しです。経常利益並びに親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益につきましては、持分法による投資利益の増加(1億45百万円程度)及び各種助成金の増加(1億3百万円程度)等の営業外損益の改善もあり、前回予想を上回る見通しであります。

※ 上記の業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上